

18年度
当初予算

3月定例会は、3日から28日までの26日間の会期で開かれました。

定例会の初日には、井上町長が施政方針を表明。その後、条例、指定管理者の指定、総合振興計画、平成18年度各会計の予算などを審議しました。

慎重に審議し、提案された議案すべてを原案のとおり可決しました。

な財政運営を求める

緊縮型の新年度予算

一般会計9・1%減138億円

平成18年度一般会計予算は138億1300万円、前年度より13億8600万円（9・1%）の減です。地方交付税等の大幅な減額など予想を超える歳入不足が見込まれることから、[※]財政調整基金の取り崩しや、さつま町行政改革大綱に基づく事務事業の見直しなど経常的な経費削減が図られた予算です。

財政調整基金

財源の不足を調整するために積み立てられた積立金

特別会計では新たに、介護保険制度改革に基づき介護予防支援事業のための「介護サービス事業特別会計」が設けられました。6つの特別会計を合わせた予算総額は、105億9000万円で、介護サービス事業を除く5つの特別会計で減額予算となっています。

事業会計は、水道事業会計及び簡易水道事業会計を合わせた支出総額は5億6000万円です。